

「寒河江市学校施設整備計画改定（案）」へのパブリックコメントの結果について

「寒河江市学校施設整備計画改定（案）」について、令和7年2月19日から令和7年3月18日まで、パブリックコメントを実施しましたが、その結果は次のとおりです。

1 意見募集期間

令和7年2月19日から令和7年3月18日まで

2 意見の件数

意見提出者数 7件

No.	意見の内容	市の考え方
1	パブリックコメントって何なの？ 為政者がただ単に市民から意見をお聞きしましたよっていうジェスチャーだけじゃないの？ 「寒河江市学校整備再編を考える市民の会 ニュース No.8」によれば、市民説明会では中学校の大規模化に批判次々、意見公募には75%が計画の見直しを求めているとあるのに、計画はそれらを無視してどんどん進んでいます。 新たに計画されている土地も、寒河江高校・寒河江工業高校にも近く、中高連携が図りやすいとあるが、今までそんな話は一度も出ておらず、とってつけたような言い訳としか思えない。 中高連携をいうなら、寒河江高校に隣接して中高一貫の学校を提案すべきではないでしょうか。 また西寒河江駅から近いとありますが、今後JR 寒河江左沢間の運行を廃止する話も出ており、更に中学生が1時間に1本しかない左沢線を利用することなど考えられません。これもとってつけた言い訳です。 私たちの子供も市の公社から、団地を買い求め住宅を建て子育てしています。 当時、公社からは小・中学校が近く、スーパーの建設も予定されていて、子育てには非常に都合がよい快適な環境だとうたい文句を信じ、団地を終の住み家として人生設計を立てて生活しています。 団地には他に同じような若い世代がいっぱい子供もいっぱいいます。	パブリックコメントにつきましては、寒河江市パブリックコメント手続要綱に基づき実施し、所要の手続きを経て、市の考え方をお示ししております。お寄せいただいたご意見につきましても、課題解決のための参考とさせていただきます。 令和4年3月に策定した学校施設整備計画について、計画策定時のパブリックコメントや説明会でのご意見を踏まえ、令和5年12月に計画の見直しを行いました。その後、寒河江市学校施設整備計画（改定版）に基づいて、計画を進めておりますので、ご理解いただければと思います。 寒河江市立新中学校施設整備基本構想（案）でお示した最有力候補地につきましては、様々な検討を行い、中高連携という視点も大切であることから検討を行ったところでございます。 中高連携につきましては、第2次寒河江市教育振興計画（32 ページに具体的施策2）において、幼保小中高の連携の推進としまして、取り組んできたところでございます。中学校や高校の授業をお互いに参観しあい、授業改善にも取り組んでまいりました。また、来年度予算におきまして、それぞれの学校の魅力向上と持続可能な地域づくりの中核となる人材育成に資することを目的として、「寒河江市中・高連携推進協議会（仮称）」を設立するための予算を計上しており、そのための検討会議を発足するための準備も進めているところでございます。 ご提案いただきました寒河江高校に隣接す

柴橋に中学校が移転されるとしたら、公社の宣伝が反故にされ、彼らの人生設計も大きく崩されることになります。 何とも言い難い憤りを感じます。 以前にも教育委員会に学校再編に関して直訴した経験があります。パブリックコメントも出しました。 子供たちが自力で通学できる範囲の地域に学校を残すべきです。 移動するのは移動手段を持つ教員が陵南中学校を本校としてもよい、そこから陵東・陵西中学校に出向けばよい(分校ととらえても良いかと)、特殊授業や部活、運動会などはその時にはスクールバスで子どもたちが移動させればよい。 そうすれば子供たちは自力で地域の学校に通学できる。 3つの学校で同じ先生に同じレベルの授業が受けられる。 学校間の交流も可能で、多くの友達もできる。 本校となる陵南中学校が古くて改築が必要なら建て直しをしなければならないですね。ただし学校の敷地は東西に長い方が良いと考えます。 今、計画にあがっている敷地は南北に長いようです。 その敷地ですと、今度建て直すときにはまた別の土地を探さなければなりません。 なぜなら北側に校舎、南側にグラウンドになるからです。北側のグラウンドは日影になりグラウンドも乾かなくて使えないと考えます。 この度、寒河江工業高校が新しく改築されました。 その敷地は東西に長く、グラウンドは一時使用できませんでしたが、校舎が西から東に移動しただけで、今度のグラウンドも日当たりのよいグラウンドになることだと思います。 ただその時の情勢で土地を決定するのではなく将来を見据えたビジョンが必要です。 それとは別に、寒河江工業高校の新たな校舎にも一つ苦言があります。 今の多くの高校では、募集定員にも満たない状況にあります。 寒河江工業高校もしかし。 それなのに新たに校舎を建設することに大きな疑問があります。 多くの経費をかけず、寒河江高校に併設して	る場所につきましては、まとまった用地を確保できないため、2次選定では、3か所を優先候補区画として検討を行ったところでございますので、ご理解いただければと思います。 公共交通機関の利活用を検討することは、市として大事な施策であると考えますので、ご理解いただければと思います。 前回の計画改定時にもパブリックコメントをご提出いただきましてありがとうございます。 ご提案いただきました内容については、今後の取組の参考とさせていただきます。 山形県立寒河江工業高等学校は、本市が所管する学校ではありませんので、お答えしかねます。 醍醐小学校を新築移転したときは、施設の老朽化等の課題がありましたので、ご理解いただければと思います。なお、小学校統合後の活用については、関係機関と協議をしております。 中学校施設は老朽化しており、教育環境を充実させるため、施設を整備する必要があることはご理解いただければと思います。 ご指摘いただきました東京一極集中、地方の人口が減り続け、それが止まらないことについては、共通の認識でございます。 将来の子どもたちの負担を考えるうえで、財政面での検討を行うのは大事なことでありと考えております。無駄な事業とならないように精査を行いながら進めてまいります。 今後ともご意見等をお伺いする機会を設けまして、新中学校整備を進めてまいりますので、ご理解いただければと思います。
--	---

寒河江高校の生徒数も増加させ、活力ある学校を造るべきだとは考えられなかったのでしょうか？ 大きな立派な校舎を造ってもいずれ生徒数が減ることが見込まれているのに。 学校建設で非常に残念と思うことに醍醐小学校があります。 あんなに素晴らしい校舎を建設したのに生徒が減少したとの理由で閉校になるとのこと。見通しの甘さというより、建設することが前提にあり進めた、極めて無駄な事業ではなかったでしょうか。 この度の中学校の統合もしかり。 少子化の進む中に大きな校舎を造る必要がどこにあるのか。そして、いま日本で大きな問題となっている東京一極集中。地方の人口が減り続け、それが止まらない。 それを私たち山形県民が苦慮しているところではないでしょうか。 中学校を統合することは東京一極集中と同じことです。 寒河江市の一地区に人口が集中して、周辺の多くの地区が衰退していくことになることが容易に想像されます。 いかがでしょうか？ くどいですが、統合し建設することが前提にあり、パブリックコメントなど市民に見せかけの作業をしているとしか思えません。 この度も、市では施設整備計画改定案に関する意見を市民に求めています。もう既にルールが引かれているのに、意見を述べても何もならないかとは考えますが、あまりにも一方的な方策に腹を立てているのは私だけではないかと思しますのであえて提言します。 市の財政的な面で検討するのではなく、子供たちの通学に負担がかからない、子供たちが楽しく学び、遊べる学校を作ってあげたいです。できるだけ少ない投資で。 そしてこの寒河江市がどの地区でも過ごしやすい街づくりを皆で考えていきましょう。 単にこの度の市民に意見を求めるという形式だけではなく、どうか再度子供たちのための学校施設整備を再検討していただきたいと切にお願いいたします。	
---	--

2	大規模中学校一校化について、多くの市民が不安を持っているなか、計画を押し進めるのですか？その進め方には同意できません。まずは、市民のその不安を解消、低減させることが先決なのではありませんか？ 人口動向予想などを見据えたものであることは、資金的にはわかりますが、教育に関しては別なはず。行政の資金管理は緩過ぎです。計画を押し進める前に、不安をもっている市民に対する納得のいく説明を求めます。	令和4年5月から寒河江市学校施設整備計画について説明会等を開催し、多くの方々からご意見を伺ってまいりました。令和5年12月には、小学校の統合再編につきましては計画を一部改定いたしました。中学校については、様々な面から総合的に考え1校としておりますこと、ご理解いただければと思います。通学やいじめ・不登校への対応等、市民のみなさまの不安を解消できるように、課題への対策について説明に努めてまいります。 人口動向予想などを見据えて、資金的な部分についてご理解いただきありがとうございます。教育に関する予算についても、将来の子どもたちの負担を考えるうえで、財政面での検討を行うのは大事なことでと考えております。ご指摘いただいた資金管理を徹底する意味でも、事業費等の精査を行いながら進めてまいります。
3	寒河江市学校施設整備作業ご苦労様です。お世話様です。標記の件について市民の一人として考えを申し上げます。 ○この度の作業、大事業に関する各会場での説明会の各地域、各地区の皆様のご意見の記録を読みました。この度の整備計画に賛成の市民が非常に少なく、反対のお考えの市民が非常に多い現状です。この計画、作業をこのまま進めてよいものでしょうか。少子化で児童生徒数が減少する現実の課題ですが、各学区の各地域各地区の市民の皆様のたくさんの賛成を得てのものでないまま、進めることは将来の寒河江市の市政に良い結果はいただけないのではないですか。 ○少子化対策が整備計画のねらいの一つと思いますが、統合中学校の生徒数が1000人超の年度に合わせたものを準備した後、生徒数が減っていく中で空き教室が増えます。大きい学校を準備することは時代の流れに合わないのではないですか。今、学校現場では一学級の生徒数を少人数にしてより細やかな指導を行っていると思います。生徒指導、学習指導等、一人ひとりの子どもに合った、子ども一人ひとりを十分に認めた上での指導がなされていると思いますし、感謝申し上げます。 ○あえて統合して大きい学校にするのではなく、子ども達、子どもは地域、地区で地区民と関わり合いながら育ててもらってもいい	○令和4年の3月に策定した寒河江市学校施設整備計画については、説明会やアンケート等のご意見も踏まえ検討し、令和5年12月に小学校の統合再編につきましては計画を一部改定いたしました。中学校については、様々な面から総合的に考え1校としております。賛成、反対、それぞれのご意見も踏まえ、総合的に判断してのものでございますので、ご理解いただければと思います。 ○ご意見いただきました通り、少子化対策は大変重要な施策と考えております。統合後、学級数が減少した場合には、グループ学習や発表の場、学習室等としての活用も考えております。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的推進や多様化する生徒への対応の場としても活用していきたいと考えております。 ○前回の見直しにおいて子どもたちの発達段階に応じた対応が必要ではないかと検討を進め、小学校と中学校の再編について考えてまいりましたので、ご理解いただければと思います。 子ども達が地区の皆様より関わり合いをもらっていただき、育ててもらっていますこと感謝申し上げます。市内全域を一つの地区と考え、それぞれの地域、地区の特性、良さに触れ、それを成長の糧にして、人との関わり合い方を学んで人として成長できるように取り組んでまいります。自然の中で自然を知り、命の大切さ、尊さを学ぶことも重要と考えております。

ます。ありがたいことです。小さい地区、地域がある中で、それぞれの地域、地区の特性、良さを成長の糧にして、人との関わり合い方を学んで人として成長してほしいです。人は地球上の生物の一つです。自然の中で自然を知り、命の大切さ、尊さを学ぶことも重要です。人間を育てることを大切にしてください。金網の鳥籠の中で鳥を飼育しているのとは違います。それぞれの地区、地域には前々からのそれぞれのお祭り、行事、活動があります。地区地域と一体となつての学校教育であってほしいです。 ○今、統合して大きな学校にすることを急ぐ必要はないと思います。そのことを表しているのが各説明会の大半のご意見です。理解してください。校舎の修繕改修が必要であれば、年次計画でそれぞれの校舎に合わせて進めればよいと思います。整備作業、統合学校整備は数合わせではないです。児童生徒数が多いから少ないから進めますというものではないです。過去に本楯地区が大変でした。駅前地区もそうでした。児童生徒数の多い学校に合わせるのではなく、児童数が多いなら、学校を増やして分けてよりきめ細やかな指導を進めてください。統合する計画作業は少し延期、先送りをしてもいいと思います。例えば、5年ほど。その間にすることがあると思います。 ○この度の整備作業を担当して下さっています皆様には、市民とともに市民の協力をいただきながら、その上で市民から感謝をいただけるようにご希望します。 ○学校統合の前に、できること、しなければならぬことがあると思います。例えば、寒河江市の施設の改修です。文化センターは改修修繕が必要です。フローは使われていない階、フロアーがあります。たくさんの市民が寄り集まってにぎやかな会館にする必要があります。今のままではよくないです。寒河江川、最上川の開発、観光事業も進めているものと思います。葉山、平野山、長岡山、慈恩寺についても観光産業に加えてよいと思います。 ○生涯学習センターが寒河江市にないです。不足しています。子どもたちが、学校教育を終えられた大人の皆さんがそれぞれの興味関心を持って学び続けられる施設がないです。お隣の河北町には児童動物園、プラネタ	人間を育てることを大切にしていまいます。それぞれの地区、地域には前々からのそれぞれのお祭り、行事、活動を守り受け継いでくださっていることに感謝申し上げます。しかしながら、少子化の影響により継続が難しいことも現実として起こっておりますので、市内全域の子どもたちが中学校で、それぞれの地域に関心を持ち、地区、地域と一体となつての学校教育となるように取り組んでまいります。 ○学校のあり方については、何年も時間をかけて検討してまいりました。施設が老朽化しており、子どもたちの教育環境の充実を早期に実現する必要があると思いますので、ご理解いただければと思います。 ○今後とも協力いただけるように説明を継続してまいります。 ○本計画は学校施設整備計画です。市の全体の計画につきましては、個別施設計画で検討しております。 ○子どもたちの教育環境の充実を早期に整備するのが市の考えでありますので、ご理解いただければと思います。 ○新中学校整備においても、バリアフリー化を進めてまいります。 ○子どもたちの教育環境の充実を早期に整備するのが市の考えでありますので、ご理解いただければと思います。 ○寒河江市全体、全領域、全地区を見渡して、西村山、山形県内の中核となる新中学校を整備してまいります。 ○中高連携の推進や市内の企業の協力のもと職場体験や職業講話等を実施しキャリア教育を充実させ、寒河江市で学んだ子どもたちが寒河江市で活躍し生活する人が増えるよう取り組んでまいります。 ○寒河江市の今、将来を思い、ご意見をいただきありがとうございます。「新中学校施設整備基本構想」(案)の基本理念にも掲げたように、生徒も教師も主役であり、保護者も地域の方々も幸福感を感じられる(ウェルビーイング)学校となるよう準備を進めてまいります。
--	--

リウムを備えたサハトがあります。東根市にはさくらんぼ東根駅近辺に学びあテラスがあり、冬季にイルミネーションがきれいです。近くに大きいショッピングセンターがあります。この2つの市、町がこのたび人口を増やしています。天童市では大きいショッピングセンターができて近くに駅が新しくできています。寒河江市の中学生、高校生が休日には図書館前から、郵便局前からその送迎バスを利用して天童市に出かけています。西川町は財政、予算が前年度より倍増しているようです。 ○生涯学習センターとして、科学館、歴史資料館、美術館の整備（展示させていただく作品を大切に展示するガラス 張りコーナーで温度湿度が適正に管理できる設備があるもの）などです。文化センターはたくさんの作品が展示できるホールをもっているもの。県美展の移動展示を1階のロビーではなく、展示ホールで展示できるものに。今寒河江市にいらっしゃる市民が楽しめる施設の建設を早めてほしいです。 ○周囲の市で大きいショッピングセンターをもっているところでは休日にはたくさんの人たちがショッピングを楽しんでいます。小学生が親御さんと一緒に来ておもちゃやぬいぐるみを買ってもらってうれしそうにしているところを見かけます。小学生のいる親御さんだけではありません。山形市の第十中学校ができてから、周囲には住宅が増えています。開校当時、周囲は田んぼがほとんどのところでした。ぜひ陵西学区に大きなショッピングセンターを。周囲の町からも買い物にたくさん訪れると思います。住宅が増えて少子化を心配しないでよくなると思います。 ○学校統合に必要な予算を上記のものに使っていただきたいです。今の市民が寒河江市で楽しい時間を過ごせるように。 ○寒河江市の施設のバリアフリー化を進めていただきたいです。公民館、分館はほとんどが2階にホール、大広間があります。バリアフリーにしてホールを1階に設置なるものをお願いします。お年寄りさん、体の不自由な人たちも公民館に来て楽しい時間を過ごせるように。 ○上記のものを年次計画で進めて、寒河江市が今いらっしゃる市民の皆様が楽しめる街	
---	--

	になることをできるだけ早く進めていただきたいと思います。そうすることによって、人口の減少、少子化を防ぐか、遅らせることにつながると思います。大きい学校建設を進める時ではないと思います。再考を期待します。大きい学校建設はそのあとでもいいと思います。 ○寒河江市全体、全領域、全地区を見渡して、自然も人も生かせる街づくりをお願いします。そして、早く進める。寒河江市は、寒河江市、西村山地区の中心都市です。ぜひリーダーシップを発揮してください。市民が喜べて市民から協力してもらえて、市の担当者がやりがいをもって事業を進めていける、そういう市政であってほしいです。このたびの学校統合計画作業は賛成者が少なすぎます。 ○寒河江市に専門学校、大学、短大がありません。子ども達、高校生は高校卒業後、わずか山形市に残って学習を続け、ほとんどの子どもたちは仙台市、宮城県に進んでいます。寒河江市を離れるのです。ぜひ寒河江市に残る子どもたちを増やしていただきたい。寒河江市には世界の誇れる企業さんがあります。寒河江市で学んだ子どもたちが寒河江市で活躍し生活し人生を送ってほしいと思います。専門学校、大学、短大を。また、働ける場所も今まで以上に増やしてください。 ○寒河江市の今、将来を思い、表します。ご検討よろしくお願いします。学校の先生方が保護者、地域の皆様と一緒に子どもたちの成長に今まで通り、それ以上に関われるように進めてください。よろしくお願いします。	
4	学校再編の話が出た時から、中学校は2校に、小学校はそのままにという考えです。どんなに小人数でも小学校がなくなるというのは地区にとっても大きな問題です。中学校もまとめるより、むしろ、3学級程度で分散し、学校毎の特殊性を生かし、個々の個性をしっかり伸ばしてほしいと思います。大規模校の中で個性が埋もれてしまい、不登校が増え、いじめが増え、教員とのコミュニケーションは減少するばかりだと思います。教員の負担も増え、今でさえ心身の不調などを訴える教員が増えているのに。不足するのも当然だと思います。子ども達も機械に弱い子もあり、学力の差も大きくなるだろうと思うのに、一人一人に目が通せるなどと考えること自体無理があると思います。通学バスを増やすより、各町を巡る交通手段を考えてほしい 今後の生徒数の状況、様々な個性や考えを持つ人との出会いによる社会性や協調性の育成、教育資源や財源等の集中によるより優良な教育環境の構築、教員数の増加とバランスのとれた教職員の配置による学習面や生徒指導面での指導や支援の質の向上等を考慮し、中学校を1校にすることとしました。ご理解いただければと思います。 新中学校においても、個々の個性をしっかり伸ばしていけるように取り組んでまいります。 交通手段の詳細については、令和7年度に設置する予定の準備委員会において検討してまいります。 今後も、疑問や不安を解消できるように、丁寧に説明等を行ってまいります。	

	い。一般の人も利用出来るように。予定されている土地も、本当に全町の中心になるのか、線路を越えての通学は大丈夫なのかなど、ギモンは沢山あります。	
5	約 1000 人規模の大規模中学校一校には多くの課題があり、中規模校 2 校に見直すべきと考えます。これまでも市民のみなさんと「学校再編を考える会」を結成して、学習会なども開催し学校再編問題を考え、市長、市教育委員会とも何度も懇談、要請してきました。市教委がおこなったパブリックコメントでも意見の約 7 割の方が、大規模中には懸念や疑問を出していました。また、「考える会」が提起した「校見直し署名」には約 1300 人の賛同署名が寄せられ、市にも提出してきました。 しかし、市教委からは大規模校 1 校になった場合の懸念や不安に納得できる説明はありませんでした。いま中学の不登校生徒が 72 名と増え、また、発達障害をもつ子どもたちが増えている中、一人ひとりの生徒の成長や安心できる教育環境を保障すること、また、対応する先生方の負担が増やさないため、1000 人の大規模校 1 校の計画は見直すべきと考えます。 西部地区の説明会でも意見がだされた、スクールバスの運行、通学中の子どもたちへの配慮、経費、運転手の確保なども、十分な説明がなされていません。	今後の生徒数の状況、様々な個性や考えを持つ人との出会いによる社会性や協調性の育成、教育資源や財源等の集中によるより優良な教育環境の構築、教員数の増加とバランスのとれた教職員の配置による学習面や生徒指導面での指導や支援の質の向上等を考慮し、中学校を 1 校にすることとしました。ご理解いただければと思います。不安が解消されるように今後も説明等を行ってまいります。 ご指摘いただいた不登校や発達障がいのお子さんへの対応については、今現在起きている問題ですので、市の会計年度職員として中学校への別室対応の教育相談員の配置、市の適応指導教室である寒陵スクールの教育相談員による家庭への訪問指導や寒陵スクールの開所時間の延長の検討、特別支援学級への支援員の配置等、現在も対応をしております。統合中学校におきましても、きめ細かな対策を行い生徒の居場所づくりや安心感の醸成に努力し、あわせて、先生方の負担軽減に努めてまいります。 通学方法については、これまでの説明会等でいただいたご意見なども踏まえ、来年度に設置する予定の準備委員会において検討いたします。
6	この案を読んで、手詰まり感を感じました。一つ一つ、検討結果をまとめて、市民の理解と協力を得られるように対応すべきと思います。 また、説明会への参賀者が少ないことにも危機意識を高めて対応すべきです。 1. これまでの対応では、①複式学級の適否、②小学校統廃合、③中学校統廃合と 次々に問題を拡散させています。 さらに、今回、これに新病院、新消防署などの計画から、「陵東中跡地」への西根・三泉小統合は変更と説明されました。【変更の取扱いの説明はありません】 まず、この対応方針を明らかにすべきです。 2. さらに、これまで地元説明会やパブリックコメントに対してきちんとした説明がないために、未だに疑問と不満を持っている人は少なくありません。 市民の理解と協力を得られるようにしっかり回答すべきです。	寒河江市学校施設整備計画改定（案）をお読みくださりありがとうございます。今後も市民の皆様のご理解とご協力をいただけるように対応してまいります。 また、今後も説明会等を開催するときはより多くの方にご参加できるように取り組んでまいります。 1. 今回の見直しにつきましては、令和 7 年 1 月に齋藤市長より要請がございました。要請の内容については、県立河北病院と寒河江市立病院の統合再編に向けた検討及び西村山広域行政事務組合消防本部の移転に関する検討を行っており、統合中学校整備後に、現在の 3 つの中学校敷地を有効活用していくことは、市にとって持続的な魅力あるまちづくりに向け、さらには財政健全化へつながる重要な条件であるという認識であり、今後のまちづくりの視点を踏まえ、現在の 3 つの中学校敷地を統合病院や消防本部の建設用地とすること並びにスケジュールの見直しについて協議いただきたいということでした。 市からの要請を踏まえ、新中学校の開校時

	3. 候補地の選定において、「高校隣接」の評価は、項目の設定も点数の比重も恣意的だと思います。 「地域の選定」に続いて、「地区の選定」の手順は妥当だと思いますが、地域選定では2高校と近接させる必要性または都市計画上の用途の関係をきちんと説明すべきです。また、地区選定では、必要面積の確保が可能かを評価すべきです。（現寒河江高校グラウンド面積と陸上競技場の面積では大きさが違います） 4. これまでの計画案では、「まちづくり」「地域振興」を考慮してという姿勢は示されながら、その内容を具体化した説明がありません。何をどうするのかを具体的に説明すべきです。 5. 今回の説明では、「山形県協議」という新しい課題が説明されましたが、その状況についての説明はありませんでした。 今回の「県との協議」「陵東中跡地利用」が表面化したことは、新病院を含む、市の土地利用計画や市振興計画との調整を含む問題を引き起こすことから、関係する事項との調整事項を網羅して全体検討行程を示す必要があると思います。	期を令和 12 年から令和 11 年に見直しするとともに、中学校敷地の活用について見直しをする学校施設整備計画改定（案）をお示したところでございます。小学校の統合につきましても、少子化の影響により今後も児童数の減少が見込まれますので、次回の学校施設整備計画の改定にあわせて改めて検討いたします。 2. これまでの説明会やパブリックコメントでも説明等を行っております。今後も疑問点については解消いただけるように、説明等を行ってまいります。 3. 寒河江市立新中学校施設整備基本構想（案）の用地選定の評価に対するご質問として回答いたします。1次選定において、教育・社会環境、通学環境、安全環境、事業環境の4つの評価分野で、17の評価項目を設定して評価をしております。その中で、環境阻害要因の有無（騒音、振動）、高等学校施設からの距離、0～14歳人口からの距離、浸水想定区域、土砂災害警戒区域、活断層の有無の評価項目について、重みづけをしております。中学校において、高等学校との連携は重要であると考えておりますので、ご理解いただければと思います。 4. 本計画は、寒河江市学校施設整備計画でございます。ご指摘いただいた「まちづくり」や「地域振興」を具体化するのには、現在、策定に向けた準備が進められております都市計画マスタープランなど他の計画でお示しする予定となっております。学校を含むまちづくりを今後も検討してまいります。 5. ご指摘いただいた「山形県協議」は、寒河江市立新中学校施設整備基本構想（案）においてお示した最有力候補地のことであるものとして回答いたします。寒河江高等学校グラウンドの譲渡について、現在の状況は、山形県へ要望している段階でございます。 新病院などそれぞれの事業については、それぞれ準備が進められている計画等の中でお示しする予定となっております。それぞれの準備状況等を考慮しながら、学校施設整備計画と他の計画との調整を行ってまいります。
7	中学校一校化はデメリットや反対意見も多く必ずしも賛成の考えではありません。 しかしながら、一校化するのであれば遠距離通学者の安全な通学手段確保、及び保護者に安心頂くことが必須です。スクールバスの十	通学される子どもたちの安全な通学手段の確保、及び保護者の皆様に安心していただけるように準備を進めてまいります。 通学方法については、スクールバス等の活用も含めて、令和7年度に設置する予定の準

分な両数確保が難しい場合も想定し、最有力候補地の選定理由である JR 西寒河江駅の通学利用となるのであれば以下の施策が必要と考えます。 1. 西寒河江駅付近での待合設備確保（冬場の暖房設備含む） 2. 西寒河江・羽前高松・柴橋各駅への Ic 乗車券 Suica 端末設置 ※Ic 乗車券読取時点で保護者へ通知機能により保護者の安心に繋がるため ※JR の設備ではあるが、状況によっては請願による市の一部負担もやむを得ない 3. 寒河江ー左沢間の増発 ※朝夕だけでなく日中も登下校となる場合があるため 4. 路線バスの増発・延伸等 ※白岩・三泉・西根・日田・皿沼など最寄駅まで距離がある地区を想定 5. 通学時の上記利用料全額公費負担 以上、公共交通機関の充実是一般市民の利便性向上にもなり、また JR との協議は長時間を要することも想定されるため早急な検討着手をお願い申し上げます。	備委員会において検討する予定です。 ご提案いただきました公共交通機関の充実については、地域の実情も踏まえ、関係機関へ要望してまいります。
---	--